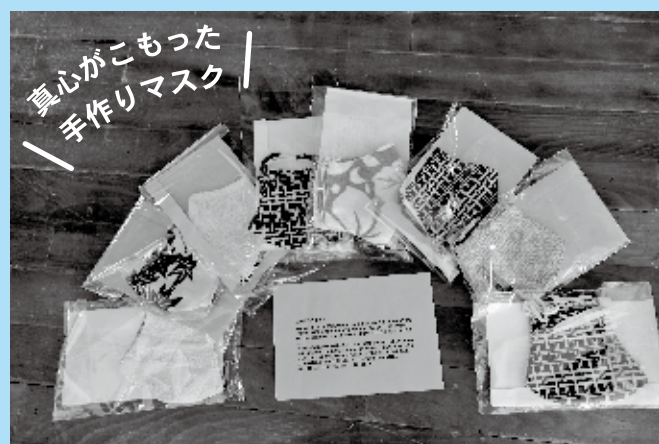


手作りマスク作成した 名城自治会女性部の皆さん



SPOTLIGHT 今月の スポットライト さん No43

新型コロナウイルス感染症の影響により、外出自粛が続く中、地域のために手作りマスク300枚を作成した名城自治会女性部の皆さん。

女性部部長の新垣君子さんは「コロナウイルスの影響で公民館活動が全て中止となり、今まで顔を合わせていた人達がどうしているか気になり、女性部で何かできることはないかと話あった結果、7～8人で1週間かけて名城地区全世帯分の300枚つくりました」と話しました。

裁縫未経験者も多く、生地などの材料も自分たちで集めまわってようやく完成したマスクには女性部の皆さんの真心がたくさん詰っていました。

マスクは手紙が同封されており、区長と班長が各世帯に配布したところ、地域の人から大変喜ばれ、名城地域の絆が強まったそうです。

Instagramの オリジナルハッシュタグを使って 糸満市のPRをしませんか？

糸満市では、市の取り組みやイベントなどの行政情報のほか、糸満市の街並み、自然、歴史、伝統、食文化といった糸満市の魅力をInstagramを利用して、市内外に広く情報発信し、観光振興などに寄与できるよう糸満市のオリジナルハッシュタグを作成しました。

オリジナルハッシュタグを使って投稿された写真の中から糸満市の魅力が伝わる写真を糸満市の公式アカウントで紹介したり、広報紙に掲載したりしていく予定なので、Instagramを利用している人は一緒に糸満市の魅力を発信しましょう。

写真が紹介されるまでの流れ

- ①あなたの好きな糸満市の街並みやグルメなどを「#piece_itoman」「#糸満pr大使」を付けて投稿
- ②糸満市の公式アカウントで「#piece_itoman」「#糸満pr大使」の付いた写真を紹介または広報紙に掲載

Instagramのほか、広報紙に掲載しきれないイベントや行政情報などは糸満市の「フェイスブック」や「ライン」にも掲載していますので、そちらもご覧ください。



ライン



フェイスブック

旬の話題をお届け! とれたて いとれば



スポーツ少年団バレーボールクラブ ていーだ西崎から寄附金

ていーだ西崎が高齢者の新型コロナウイルス感染症予防に役立ててほしいということで、アルミ缶や古新聞などの資源ごみをリサイクルして貯めた1万円を6月16日に市役所へ贈呈しました。

チームを代表して大城理子さんは「アルミ缶や古新聞などをリサイクルして貯めたので糸満市のために使ってください」と話しました。



旧暦5月4日ユッカヌヒー ハーレー鉦がなりました

旧暦5月4日(ユッカヌヒー)の糸満ハーレー到来を告げる鉦打ちが6月18日の早朝に行われました。鉦打ちは、糸満ハーレーの1週間前の旧暦4月27日に行われており、ハーレー鉦が鳴ると梅雨が明けるといわれています。糸満ハーレー行事委員会の東恩名委員長は「ハーレー行事は中止が決定していますが、海人の航海安全と大漁を祈願して鉦を打ちました」と話しました。



5年に1度の統計調査 国勢調査実施本部看板設置式

令和2年度国勢調査糸満市実施本部看板設置式が行われました。国勢調査は5年に1度実施され、糸満市の全世帯を対象に、9月中旬～10月初旬にかけて調査員が調査票の配布と回収を行います。実施本部の上原昭本部長(市長)は新型コロナウイルス感染症の影響もあり調査員が不足しているとして「正確な調査の実施ができるよう喫緊の課題でもある調査員確保に取り組みます」と話しました。



コロナに負けるな応援寄附金として 株式会社金松組から200万

株式会社金松組の代表取締役が5月28日市役所を訪れ、「コロナに負けるな応援寄附金」に寄附として200万円贈呈しました。

屋嘉比智美代表取締役は「新型コロナウイルス感染症によって各方面で大きな影響がありますが、寄附で子どもたちの為になればと思い、微力ながら協力させていただきます」と話しました。